

公園のような建築をつくる

- 1 誰もが訪れやすいような場をつくる
- 2 すべてが快適なスペースとなるように配慮する
- 3 自然なコミュニケーションが発生するようにデザインする
- 4 駅～公園～建築～街路のスムーズな流れ

新しいフレキシビリティ

- ・ニュートラルな均質空間では新しい活動は発生しにくい
- ・同様に変化をドラマティックに建築化すると空間をフィックスするので使いにくい
- ・このいずれでもないフレキシブルな複層空間を提案する

やわらかい境界／空間の震

- ・全方位に開放可能な建築・低層で親しみやすいボリューム感
- ・やわらかい境界／やさしい建築・心地よい空間性、あいまいな領域を含んだスペース
- ・緑で囲まれたテラスのようなスペース

シームレスなスペースの連続

- ・固定間仕切りのない連続したスペース 平面的流動性 柱のない空間
- ・voidと縦動線の分散配置・偏在化 垂直的流動性
- ・場所ごとに特性のあるスペース フレキシブルだけれども均質ではない

機能の多島海的分散配置

- ・浮遊する機能
- ・(常にon processなプランニング 自由なレイアウト 可変性・拡張性・互換性 非ゾーニング)
- ・スペースミックス×メディアミックス

a. 本施設が知的創造拠点としての機能を十分に発揮できるための提案

- ・図書館機能を全国レベルですぐれたものとする(内容・運営・空間)
- ・(他地域からもわざわざ訪れる価値のあるもの一さまざまなひとひと一知・価値をひきつける)
- ・施設内のコヒュータス空間化
- ・(来るべきコヒュータス社会を先取りして、館内のすべてのものにIPアドレスを付与し、偏在的ネットワーク空間を構築する、スペース×メディアの実験性)
- ・空間の快適性×デザインの先進性
- ・(建築空間のあらゆる部分が長時間の知的創造に耐えうる快適性と落ち着きをもつこと)
- ・リアルな施設とともにネットワーク上に施設を立ち上げ、ネットワーク上でも公園のようなエリアをつくる

b. 複数の機能が集まる利点を活かすための提案

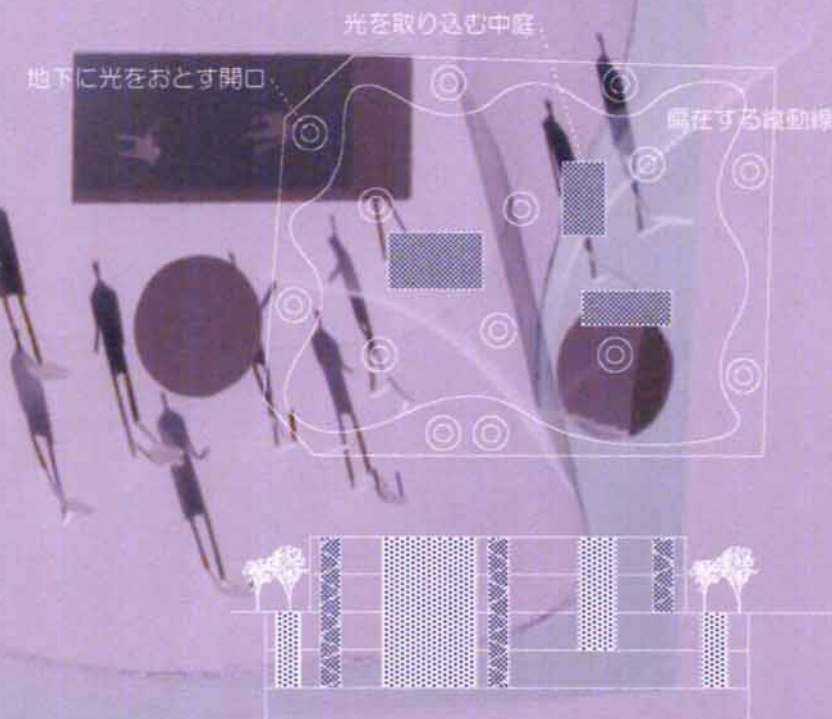
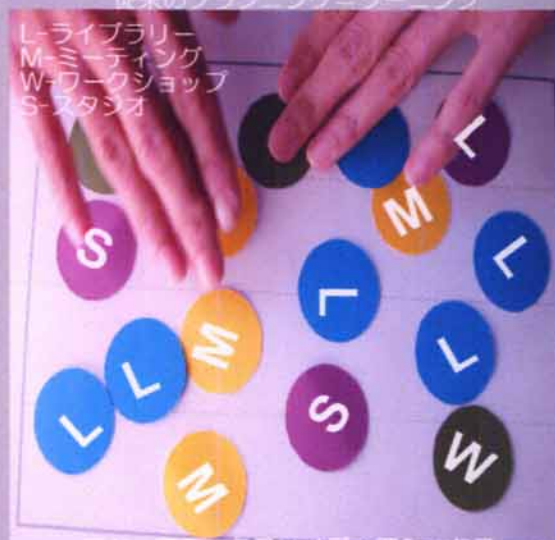
- ・空間の発見性・回遊性
- ・(ひとつの目的をもって施設を訪れると、スペース・ミックス×メディアミックスにより、常に発見がある)
- ・ひとひとが集まりやすいかたち 親しみやすいかたち コミュニティを誘導するかたち
- ・新しいセキュリティ・システムの考案
- ・(空間の開放性・流動性に見合う方式、統制ではなく自由を保つための管理・運営)
- ・セルフサービスの図書館システム等
- ・ユニバーサル建築 空間のユニバーサル×機能のユニバーサル

c. 周辺環境や立地条件を活かすための提案

- ・建築の公園化により公園の機能を増大させる
- ・緑に囲まれ、公園に開いた市民共有のコミュニティ・スペース
- ・水のイメージ(武蔵境の歴史性、玉川上水・千川上水) アメニティ 緑の境界
- ・駅からの景観 ランドスケープ/建築 武蔵境のイメージをつくる建築/水・自由・集い

d. その他の提案

- ・環境デザインとしての建築
- ・(建物の緑化 熱環境システムとしての建築 機械に頼り過ぎないハッシブな建築)
- ・3つのアーキテクトによる計画の推進
- ・空間アーキテクト×情報アーキテクト×コミュニティ・アーキテクト
- ・オープン・プロセス 計画プロセスの透明化



自然の空調設備による省エネ
 ・自然を利用した昔ながらの開放系の枝で快適な場をつくる
 ・外壁層のガラス部分を開放し、中間層から夏場は半開放的な場となる
 ・木々は夏場の日差しを十分に遮ることも同時に緑に散水することで気化熱による涼風を室内へと引き入れる
 ・中庭により自然採光を取り込む